

『真光寺川 里親の会』通信

1月号 一通算第118号—

2011年1月9日

新しい年、2011年を迎えて—継続は力なり、されど日々新しく

明

あけましておめでとうございます！

いい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年は干支でいうと卯年だそうです。卯とは植物が芽を吹き、繁茂する様子を表しているそうです。何か希望が湧いてくるのをおぼえます。先日、有志数名が集まり2010年を回顧し、新しい年の展望を話し合ってみました。

2010年の回顧

① 大量のコイの死！

春頃から水が濁り、透視度が落ちてきました。日によっては、水が蒼黒く濁り水底が見えないことがありました。それに加えて大粒の泡が大量に水面を覆うようになりました。何か異変が起きていることを予感する日々でした。5月12日、コイが大量に浮かんでいるのが発見されました。いち早く環境保全課と南東建に連絡を取り原因究明にあたりましたが確たる原因はつかめませんでした。



定期水質検査 水質が悪化！

② 残念ながら「真光寺川まつり2010」中止

5月、6月と水は一向にきれいになってきませんでした。6月の清掃日、会員で真剣に討議した結果「中止」となりました。2002年から毎年開催し、8回続けてきただけに苦渋の選択でした。

③ 恒例の散策

1月10日「境川の河口を訪ねて、江ノ島散策」

快晴微風、絶好の散策日和でした。江ノ島は初詣客で賑わっていました。

2月14日「旧真光寺川を探索」

真光寺川の下流域、三輪から恩廻公園のあたりを探索しました。更に鶴見川添いに市が尾まで散策しました。寺家村の茶室風食事処での昼食は好評でした。



水質改善が期待されるジャカゴの設置

④ ジャカゴの設置

6月、平成橋の下流の両岸に約40mにわたり設置されました。水質と生態系の改善が期待されます。

⑤ 子供たちとの交流

鶴三小、和光鶴小、麻生総合高校等の学習をお手伝いしました。



ボランティア活動について学ぶ麻生総合高校生

2011年の課題と展望

- ・ 当面：「真光寺川まつり2011」の開催
- ・ 長期的：自然豊かな清流をめざすこと

下堰親水の近くに保育園が開設されました。年末、園長さんが訪ねてこられました。下堰親水で園児達を遊ばせ、五月の空に鯉のぼりを泳がせたいというお話でした。幼い子供たちが遊べる安心安全な水辺の構築、夢がふくらんでくるのを覚えます。

「継続は力なり、されど日々新しく」今年も力を合わせ前進したいものです。

平成23年元旦

真光寺川を清流にする会・真光寺川里親の会・会長 山口拓郎

和光鶴川小学校の水生生物調査について

和光鶴川小学校では毎年 4 年生の総合学習で、真光寺川と鶴見川を対象に夫々の歴史、生き物、ゴミ問題等について班別調査活動を行い、本会とも交流を深めてきました。今年は 1 組が真光寺川に取り組んでおり、この一環で前年に引き続き、水生生物調査の体験学習を実施することになり、本会から山口、五條、黒田、山岡が出席し協力しました。

冬間近の 11 月 29 日、調査地点の下堰に、竹田先生と保護者(生徒の母親)に引率された 6 名の生き物研究班が参集、13 時から 14 時過ぎまで熱心に調査活動を行いました。

子供達は、「全国水生生物調査要領」等の説明を聞いた後、10 数個の浮石を川岸に引き上げ、水生昆虫やヒルなどを根こそぎ採集してその種類を調べました。昆虫類は 9 月までに殆ど羽化を終え、ミズムシ等も水温の低下とともに巣穴に閉じこもってしまったものか、生物の種類が少なく、その反面孵化後間もない微小な幼虫が多数見かけられ、種類が同定しにくい状態でした。幸い小春日和に恵まれたこの日、真光寺川もいつになく澄み渡り、程好い水温で子供等を歓迎し、調査後の 1 時間ほどは、小魚を追いつくカワガキ達の楽しげな声が河畔にあふれていました。



水生生物を採取する和光鶴小 4 年生

・採集した水生生物

採集した水生生物	同定した種類
カゲロウの幼虫(昆虫)	サホコカゲロウ、フタバカゲロウ
トビケラの幼虫(昆虫)	コガタシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ
ヒル(環形動物)	シマイシヒル
ザリガニ(甲殻類)	アメリカザリガニ
タニシ(巻貝類)	マルタニシ

・内、指標生物(数量順)
コガタシマトビケラ、ヒル、
アメリカザリガニ、タニシ
・判定結果(正式ではない)
水質階級Ⅲ(汚れた水)
(山岡 鐵也記)

またまた真光寺川の魚大量死！塩素を検出。原因究明と対策が急務

昨年 5 月に鯉の大量死をお伝えしましたが、昨年暮れ 12 月 28 日にも小魚の大量死が発生しました。市民が広袴調整池で魚の大量死を発見し警察へ通報。夕方警察署と調整池や真光寺川を管理する行政機関が現地に駆け付け、調整池ではモツゴやフナ等が、真光寺川ではオイカワやモツゴが多数死んでいるのが確認されました。又死がいの一部を回収し、市の環境保全課が水質検査を行いました。その結果塩素が検出されたとのこと。翌 29 日にも水質検査が行われましたが、この時は塩素の痕跡はなかったとのこと。今後は原因を一刻も早く究明し、安全で親しめる川に戻すため行政と協議していきます。

1 月 30 日まちカフェで清流の会がパネル発表！ぜひご参加ください

1 月 30 日(日) 町田市民フォーラムでまちカフェが開催されます。まちカフェは町田市内で活動する地域活動団体などと一般の市民が集い、お茶を片手に町田にまつわるテーマをもとに語り合うユニークなお祭り。この日は午前中から地域活動団体のための講座やパネル展示などがあり、午後からは市民協働と地域活動についてのシンポジウム(13 時 30 分～)などがあります。私たち清流にする会は活動事例として真光寺川の現状と今後の課題について報告します。又 3F・4F では活動状況を展示しています。関心がおありの方はぜひご参加ください。(詳細はホームページ <http://machi-cafe.org/> をご覧ください)

『めだかポスト』

12 月は、鶴川 4 丁目の芦田徳明様からのご寄付、野津田丘の上の秋まつりで中村、山岡さんからのご寄付、その他めだかポスト・一木会と見つめ会からのご寄付を合算し 8,451 円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

2 月 13 日(日) 小田原めだかのふるさとを訪ねます

2 月の例会は童謡「めだかの学校」のふるさとである小田原に「小田原メダカ」を訪ねます。

集合：2 月 13 日(日) 9 時：00 分 鶴川駅改札口集合 昼食後解散

この日は「めだかの学校」、「めだか公園」など訪ね、時間があれば小田原城址での観梅も予定しています。一般の方々のご参加を歓迎いたします。一緒に散策しませんか。

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』 会長：山口 拓郎 町田市鶴川 1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴 3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp